

12月
議会

湖城のぶこ 議会質問より

受動喫煙の防止対策

質問

市内における喫煙者のマナー向上への取り組みは？
公共施設、公園の喫煙場所、
受動喫煙の市民への周知はされているか？

答弁

ホームページで、喫煙の健康被害や受動喫煙の防止に向けたマナー向上を周知している。市が管理する施設内は全面禁煙としている。公園、児童遊園には灰皿は設置していない。総合体育館は館内を全面禁煙とし、屋外に灰皿を設置している。

質問

喫煙者の禁煙への後押しは考えているか？

答弁

禁煙を希望する人には相談や医療機関の情報提供などの支援に努めている。総合病院でも禁煙外来を開設している。

答弁

平成 26 年度 4,461 件で一番多いのが屋外清掃作業、除草、運搬作業、次いで植木手入れ、大工仕事、建物・駐車場管理となっている。就業率は 71.7%で、平均配布賃金は 39,538 円であった。希望する仕事を選択して就労していることから会員の希望に沿っていると認識しているが、民間事業所等へ働きかけるなど、更なる就労機会の確保に努めている。介護ボランティアポイント制度の活用はセンターと協議していく。高齢者のサロンは、現時点では支援の考えはないが、現在実施している教養講座などの支援を継続していく。

障がい者への支援策の充実

質問

発達障がい者や家族への精神的なサポート、
就労支援は？

答弁

個々の障がいの特性に合わせた支援プログラムや家族支援の勉強会を持っている。職業リハビリテーションの活用や職業体験の場の確保、就労後のフォローを行っている。

高齢者の就労支援など

質問

シルバー人材センターの現状、働きたい高齢者のニーズに合うか？
シルバー人材センターを介護ボランティアポイント制度に活用しては？
高齢者が気軽に集まれるサロンなどの支援はできないか？